

2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年11月6日

東

上場会社名 株式会社デイトナ 上場取引所
 コード番号 7228 URL https://www.daytona.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 織田 哲司
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 杉村 靖彦 (TEL) 0538(84)2200
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	7,041	8.4	818	37.6	829	38.1	571	40.9
2019年12月期第3四半期	6,497	7.3	594	23.4	600	21.2	405	20.4

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 570百万円(40.5%) 2019年12月期第3四半期 405百万円(21.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	243.93	233.80
2019年12月期第3四半期	173.17	167.14

四半期連結経営成績に関する注記

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	7,513	3,970	52.1
2019年12月期	6,761	3,450	50.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 3,911百万円 2019年12月期 3,399百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2020年12月期	—	0.00	—		
2020年12月期(予想)				24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,401	9.2	1,067	55.3	1,065	51.1	724	58.2	309.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年12月期3Q	3,604,600株	2019年12月期	3,604,600株
2020年12月期3Q	1,260,672株	2019年12月期	1,260,672株
2020年12月期3Q	2,343,928株	2019年12月期3Q	2,343,991株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する根拠のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が経済活動や生活者の消費行動に大きな影響を及ぼし、3密を避ける行動様式等が顕著となった結果、企業活動においても大きな変化と対応が要求される状況となりました。

また、海外経済においても新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見えず、海外渡航の制限などが経済活動に大きな影響を及ぼす状況が続いております。

二輪車業界においては、春先に一旦、緊急事態宣言による外出自粛等が影響し需要が大きく減少したものの、緊急事態宣言解除後は、特別定額給付金、キャッシュレス決済の還元などの経済政策と「3密」を回避できる趣味としてのバイクライフや通勤手段としてのバイクの活用、それに伴うメンテナンスニーズの増大が顕著にみられる状況となりました。

当社グループにおいても、4月には外出自粛等の影響による売上減少が生じたものの、5月以降からは売上が回復し、6月以降は予想を上回る推移が継続しました。利益に関しても、売上高の増大に加え、営業自粛・広告宣伝方針の変更による費用の減少等により大きく増加し前年同四半期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は70億41百万円（前年同四半期比8.4%増）、営業利益は8億18百万円（前年同四半期比37.6%増）、経常利益は8億29百万円（前年同四半期比38.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億71百万円（前年同四半期比40.9%増）となりました。

[国内拠点卸売事業]

国内拠点卸売事業は、(株)デイトナおよび(株)ダートフリークの卸売事業をセグメントしております。

(株)デイトナでは、4月には新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の影響で売上高が大きく減少しましたが、5月以降は売上が急回復し、ツーリングバッグ、インカム、スマホマウント等のツーリング用品に加え、通勤方法の変更のため、眠っていたバイクの再生ニーズに応えるメンテナンス用品や電動アシスト自転車好調に推移しました。また、(株)ダートフリークは後述のとおり、当第3四半期連結累計期間は前年10月から当年6月までの経営成績を連結しておりますが、当年4月までは新型コロナウイルス感染症拡大による生産減少や供給遅延の影響を受けましたが、5月以降は(株)デイトナと同様に売上が急回復したことで売上高、営業利益ともに前年同四半期を上回りました。この結果、国内拠点卸売事業全体では、売上高は52億81百万円（前年同四半期比6.8%増）、セグメント利益は7億23百万円（前年同四半期比43.2%増）となりました。

なお、(株)デイトナが12月末決算であるのに対し(株)ダートフリークは9月末決算であるため、当第3四半期連結累計期間においては、(株)ダートフリークの前年10月から当年6月までの経営成績を連結しております。

[アジア拠点卸売事業]

アジア拠点卸売事業では、インドネシアにおける新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらず、引き続き経済活動にも大きな影響が出る状況が続いております。4月に日本人従業員を帰国させ、現地従業員や取引先とはWeb会議などを活用しながら運営しておりますが、新規商品開発や市場開拓活動は難しく、活動に遅れが出ている状況です。この結果、売上高は39百万円（前年同四半期比47.5%減）、セグメント損失は25百万円（前年同四半期はセグメント損失7百万円）となりました。

[小売事業]

小売事業は、バイク用部品用品小売店舗等を展開する(株)ライダーズ・サポート・カンパニーと(株)ダートフリークの売部門をセグメントしております。

(株)ライダーズ・サポート・カンパニーのライコランドFC事業においては、特別定額給付金による一時的な売上増加の特需は落ち着きを見せ始めたものの、第2四半期連結累計期間に引き続き、来店するお客様も多く好調な販売が続きました。中古品の販売を行うアップガレージライダーズFC事業においても特需の落ち着きは見られたものの、来店するお客様は多く順調な推移となりました。また、(株)ダートフリーク小売部門では、第2四半期連結累計期間に引き続き、決済セキュリティの安全を確保するまでの間、クレジットカード決済を停止し代引き決済によっておりますが、5月以降は売上、利益ともに回復傾向となりました。

この結果、売上高は17億円（前年同四半期比8.7%増）、セグメント利益は1億4百万円（前年同四半期比29.9%増）となりました。

なお、(株)ライダーズ・サポート・カンパニーが12月末決算であるのに対し(株)ダートフリークは9月末決算であるため、当第3四半期連結累計期間においては、(株)ダートフリークの前年10月から当年6月までの経営成績を連結しております。

[その他]

その他事業の太陽光発電事業は、前年8月に新たに稼働を開始した愛知県設楽町の太陽光発電設備による売電収益の増加により、前年同四半期を上回る売上高となりましたが、同太陽光発電設備の減価償却費が増加したことと、本社敷地内における落雷の影響による売電の停止、修繕費等により、利益面は前年同四半期を下回りました。

リユースWEB事業では、利益面での黒字化には至らなかったものの、第2四半期に引き続き中古部品販売売上が前年同四半期を大きく上回りました。手数料売上に関してはアプリのダウンロード数とアクティブユーザーの獲得を主軸に活動を続けております。この結果、その他事業における売上高は1億21百万円（前年同四半期比24.2%増）、セグメント利益は3百万円（前年同四半期比63.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ20.0%増加し、49億84百万円となりました。これは、現金及び預金が5億95百万円、受取手形及び売掛金が2億24百万円増加したことなどによります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3.0%減少し、25億29百万円となりました。これは、有形固定資産が50百万円減少したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ7億51百万円増加し、75億13百万円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ18.7%増加し、28億9百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が2億17百万円、短期借入金が58百万円増加したことなどによります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ22.3%減少し、7億34百万円となりました。これは、長期借入金が2億18百万円減少したことなどによります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億31百万円増加し、35億43百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ15.1%増加し、39億70百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の通期業績予想につきましては、2020年11月5日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響は、現在のところ軽微であります。第4四半期以降の状況は不透明であるため、今後の動向および影響については継続して注視し、必要に応じて業績予想の修正を検討してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	760,222	1,355,790
受取手形及び売掛金	771,365	996,050
たな卸資産	2,357,195	2,296,179
その他	273,637	343,628
貸倒引当金	△7,355	△7,569
流動資産合計	4,155,066	4,984,080
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	549,199	524,476
土地	863,532	862,931
その他(純額)	483,535	458,040
有形固定資産合計	1,896,268	1,845,449
無形固定資産		
のれん	520,430	471,640
その他	41,395	40,986
無形固定資産合計	561,826	512,626
投資その他の資産		
その他	151,846	175,011
貸倒引当金	△3,111	△3,323
投資その他の資産合計	148,735	171,688
固定資産合計	2,606,829	2,529,763
資産合計	6,761,896	7,513,843

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	269,590	486,793
短期借入金	1,619,579	1,678,525
未払法人税等	121,531	167,455
賞与引当金	51,408	104,334
株主優待引当金	—	695
その他	304,100	371,310
流動負債合計	2,366,210	2,809,115
固定負債		
長期借入金	911,750	693,652
退職給付に係る負債	1,075	1,089
その他	32,799	39,909
固定負債合計	945,624	734,651
負債合計	3,311,834	3,543,766
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,456	412,456
資本剰余金	485,338	483,128
利益剰余金	3,151,457	3,666,969
自己株式	△628,823	△628,823
株主資本合計	3,420,428	3,933,730
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△21,180	△22,621
その他の包括利益累計額合計	△21,180	△22,621
新株予約権	50,719	58,964
非支配株主持分	94	3
純資産合計	3,450,062	3,970,077
負債純資産合計	6,761,896	7,513,843

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	6,497,226	7,041,688
売上原価	3,784,227	4,015,525
売上総利益	2,712,999	3,026,162
販売費及び一般管理費	2,118,377	2,208,114
営業利益	594,621	818,048
営業外収益		
受取手数料	7,802	8,874
補助金収入	1,108	4,730
試作品等売却代	8,261	6,677
その他	14,776	9,006
営業外収益合計	31,949	29,288
営業外費用		
支払利息	11,786	10,653
デリバティブ評価損	2,269	923
為替差損	10,689	5,413
その他	895	754
営業外費用合計	25,639	17,744
経常利益	600,930	829,591
特別利益		
固定資産売却益	685	2,597
特別利益合計	685	2,597
特別損失		
固定資産除却損	650	843
特別損失合計	650	843
税金等調整前四半期純利益	600,966	831,345
法人税、住民税及び事業税	203,866	274,072
法人税等調整額	△8,831	△14,408
法人税等合計	195,035	259,663
四半期純利益	405,930	571,681
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	13	△84
親会社株主に帰属する四半期純利益	405,917	571,766

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	405,930	571,681
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△34	△1,446
その他の包括利益合計	△34	△1,446
四半期包括利益	405,895	570,234
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	405,882	570,325
非支配株主に係る四半期包括利益	12	△90

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月26日 定時株主総会	普通株式	39,848	17.0	2018年12月31日	2019年3月27日	利益剰余金

- 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月24日 定時株主総会	普通株式	56,254	24.0	2019年12月31日	2020年3月25日	利益剰余金

- 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,758,923	75,191	1,564,896	6,399,011	98,215	6,497,226	—	6,497,226
セグメント間の内部 売上高又は振替高	188,439	—	150	188,589	—	188,589	△188,589	—
計	4,947,362	75,191	1,565,046	6,587,600	98,215	6,685,816	△188,589	6,497,226
セグメント利益又は損 失(△)	505,370	△7,053	80,209	578,526	10,034	588,560	6,060	594,621

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユースWEB事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額6,060千円には、セグメント間取引消去10,892千円、たな卸資産の調整額△5,399千円、固定資産の調整額568千円等が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,179,695	39,441	1,700,569	6,919,705	121,983	7,041,688	—	7,041,688
セグメント間の内部 売上高又は振替高	102,255	—	83	102,339	—	102,339	△102,339	—
計	5,281,950	39,441	1,700,652	7,022,044	121,983	7,144,028	△102,339	7,041,688
セグメント利益又は損 失(△)	723,814	△25,723	104,222	802,313	3,655	805,968	12,079	818,048

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユースWEB事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額12,079千円には、セグメント間取引消去12,721千円、たな卸資産の調整額△1,046千円、固定資産の調整額404千円等が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。